

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年9月19日～2016年9月25日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年9月27日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「アブハジア共和国外相」の辞任(20日)

・チリクバ「アブハジア共和国外相」(8月5日以来「外相代行」)が辞任を発表。「現在の状況ではアブハジア共和国外相としての任務を継続できない。外交政策が変わらないよう望む」との短い声明を発表して辞任。2011年10月から「外相」を務めていたほか、ジュネーヴ国際会議におけるアブハジア側の代表者であった。

・翌日、「アブハジア共和国大統領府」は、8月5日にバルツィツ新首相が任命されて以来、チリクバ氏が「外相代行」のままであったのは、9月2日の「沿ドニエストル共和国記念日」の催しに出席するために同「共和国」を訪問することをチリクバ氏が拒否したためであったとのコメントを発表。モルドバから強制送還された場合にはその後欧州諸国への入国に問題が起こる恐れがあった。実際に、同「共和国」訪問しようとしたアルシバ「アブハジア共和国外務次官」は、9月1日にモルドバから強制送還を受けた。

2. 外 政

▼首相が国連総会に出席(19日-22日)

・クヴィリカシヴィリ首相が第71回国連総会に出席するためニューヨークを訪問。キスカ・スロバキア大統領、シュタインマイヤー独外相、ブリンケン米国務次官、ミシェル・ベルギー首相、フィリップ・モルドバ首相、トゥスク欧州理事会議長、モゲリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表らと会談。

・19日、第1回国連難民・移民サミットで演説。アブハジア・南オセチアではロシア連邦による占領を受け、度重なる民族浄化の結果、約40万人の難民が発生したとして、国際社会の関与を訴えた。難民が発生する理由である紛争と国際法の侵害が解決されねばならないと主張。

・20日、ジョージアのイニシアチブにより、透明性が高く、効率的かつ包括的なガバナンスについてのハイレベル会合が開かれた。エストニア、韓国、ベルギー、UNDPが共催。

・21日、国連総会年次ハイレベル討論にて演説。国連の「持続可能な開発目標」に向けたジョージア政府の取り組みとして政府の4項目の改革計画を紹介した。10月8日の国会選挙を「自由かつ公正な選挙にする」と強調。最大の課題として被占領地域の問題を挙げ、ロシアの「併合政策」を非難。

▼外相がニューヨークを訪問(19日-22日)

・ジャネリゼ外相が第71回国連総会に出席するクヴィリカシヴィリ首相とともにニューヨークを訪問。韓国、ポルトガル、パラグアイ、クウェート、バーレーン、モンゴル、コロンビア、ボリビア、ホンジュラス、コスタリカ、ガーナ、ブータン、アフガニスタン、トルコ、リヒテンシュタイン、インドネシア、エチオピア、チュニジアなどの外相と会談。

・21日、ドイツとスイスが主催した「人権保護を通じた紛争の予防」に関する会議に出席。22日はイタリア、ヨルダン、UNODC、インターポールの共催で開かれた「テロ・犯罪集団からの文化財の保護」に関する会議およびGUAM外相会合に出席。

3. 内 政

▼元内務次官に対する起訴(22日)

・検察は、2011年5月にトビリシで行なわれた反政府抗議デモの強制解散に関連し、公権濫用の容疑でロルトキパニゼ元内務次官(現ウクライナ・オデッサ州警察長)を起訴。検察はメラビシヴィリ元首相(同事件に関連して服役中)が暴力を用いてデモを解散させ、多くの参加者を逮捕するよう「ロ」元内務次官に指示したと主張している。

・2011年5月の抗議デモの強制解散について、今週、検察は新しい証拠映像を入手したと発表し、映像を公開した。映像には、アハラリア憲法保安局長(当時)が部下にデモ参加者の逮捕を命じている様子が写っている。

・一部の政治評論家や野党関係者は、国会選挙の3週間前の映像の公開の背景に政治的な思惑を疑っている。

▼最高裁判所が憲法裁判所裁判官を指名(20日)

・最高裁判所は、9月末に任期を終えるシチナヴァ憲法裁判所裁判官に代わる裁判官として、トゥグシ憲法裁判所法務・調査局長を指名。

▼海外の投票所の設置(20日)

・中央選挙委員会は10月8日の国会選挙で、41か国48都市に計56か所の投票所を設置すると発表。東京でも投票所の設置が検討されたが、登録された有権者が投票所の設置の条件とされる20名に満たないため見送られた。

4. 経 済

▼2016年1月～8月の貿易統計(19日)

・国家統計局が2016年1月～8月の貿易統計を発表。貿易額7,426百万ドル(前年同期比16%増)、輸出額1,312百万ドル(同10%減)、輸入額6,114百万ドル(同23%増)。

・貿易相手国の内訳は EU 諸国 27%、CIS 諸国 22%。国別では貿易額の多い順にカナダ、トルコ、ロシア、中国、アゼルバイジャン、アイルランド、ドイツ、ウクライナ、アルメニア、イタリア。

・日本との貿易高は輸出額1,105.8千ドル、輸入額114,698.8千ドル。

▼2016年第2四半期のGDP(19日)

・国家統計局が2016年第2四半期のGDP速報値を発表。名目GDPは8,059.8百万ラリ(2,166.4百万米ドル)。国民一人当たり3,642.6ラリ(979.1米ドル)。実質成長率は前年同期比3.0%。GDPデフレーターはプラス0.7%。

▼ジョージア・中国間の定期直航便の運行の開始(22日)

・中国南方航空が北京＝ウルムチ＝トビリシを結ぶ定期航空便の運航を開始した。週2便。

▼TBC Bank2016年第2四半期のGDP(23日)

・TBC Bankがロンドン証券取引所プレミアム・セグメントに上場。上場を記念する式典にクムシシヴィリ経済・持続的発展相が出席した。

・「ク」経済・持続的発展相はダンカン英外務閣外大臣と会談し、ジョージア国内の改革、ジョージア・英間の貿易・経済関係などについて議論。

▼Wizz Airが新しい国際線の運行を開始(23日)

・Wizz Air(ハンガリー)がクタイシ国際空港とベルリン、ドルトムント、メミンゲン(独)、ラルナカ(キプロス)、ミラノ、ソフィア、テッサロニキを結ぶ新しい国際線の開始を発表。

・Wizz Airは2012年以降クタイシ国際空港とブタペスト、カトヴィツェ、ヴィリニユス、ワルシャワを結ぶ国際線を運航している。